

マルナカだより 秋号

50代から考える シニア層の住み替え実態

リクルート住まいカンパニーがシニア層を中心とした「自宅の住み替え実態」に関する調査を行ったところ、住み替えを経てよりアクティブに生活を楽しむシニア像が見えて来た。

調査対象は50歳以降に住み替えを行い、現在首都圏に住む50～70代の男女1029人。

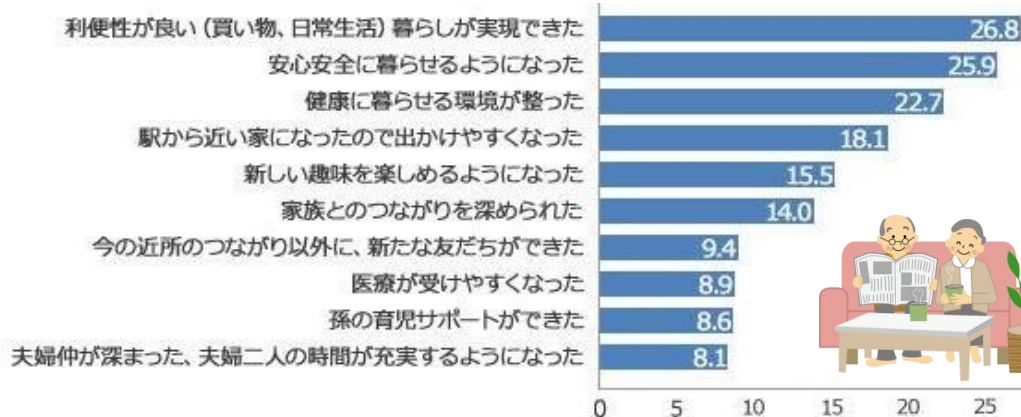
50歳以降の住み替えであれば、住み慣れた場所から離れたくないだろう。実際に調査結果では「同一駅圏内」「同一市区町村内」「場所は変わらず」といった住み替えが52.1%と半数を占めた。一方で、「他の市区町村」「他の都道府県」も47.9%と半数近くを占め、遠距離の住み替えも多いことが分かった。

住み替え先は、賃貸住宅やマンション、一戸建ての購入、二世帯住宅の新築など様々だが、住み替えの理由は家や設備の「老朽化の解消」によるものや、駅から近い・買い物などの利便性がよいなど「アクセスの向上」によるものが上位を占めた。

「住み替えた後に実現できたこと、新たに始めたことは？」の質問には下グラフのように「利便性が高い暮らし」「安心・安全な暮らし」「健康に暮らせる環境」を手に入れた割合が高かった。また、「駅から近いので出

かけやすくなった」「新しい趣味を楽しめる」「新しい友達ができた」など住み替えをきっかけにアクティブに暮らしている姿が想像される結果となった。

持ち家だった人の約7割が住み替え時に売却



「住み替えるまで住んできた家の種類(持ち家、実家、賃貸など)と、その家を住み替えた後どうしたか？」の質問に最も多かったのは、「今までの家は持ち家で、住み替え時に売却した」が31.4%だった。これを持ち家だった人(全体の45.9)に絞って割合をみると、約7割が売却したことになる。下グラフ参照。

「住み替える上で不安だったこと、躊躇したこと」については、トップ3が「もともと住んでいた家の家財道具の処理」「新居費用の捻出など経済的負担について」「住み慣れた地域を離れること」だったが、同様に持ち家だった人に絞って見ると「持ち家の売却や、新たな家の購入など手続きの面倒さ」がトップとなり、「家財道具の処

理」がそれに続いた。

年代にかかわらず、住み替えでアクティブな暮らしを実現

今回の調査結果は50代、60代、70代と住み替えた時の年代別でも分析している。細かい点では年代別による違いが見れますが、大きな傾向に違いはありませんでした。

70代の住み替え先は、賃貸住宅やマンション、一戸建ての購入、二世帯住宅への新築やリフォームが多く、高齢者向けの住宅や老人ホーム、子供や親族の家などへの住み替えは意外に少ない。

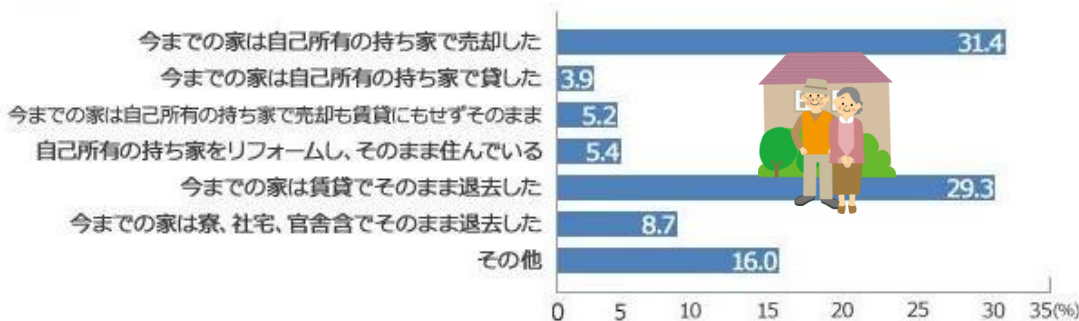
住み替えで安心安全や利便性の高さ、健康に暮らせる環境を求めるのは70代も同じですか、むしろ「新たな友達ができ」「夫婦仲が深まった」「ボランティア活動に参加するようになった」「若い世代と交流できる機会が生まれた」といった項目では70代が最も高くなっている。

ること、首都圏に住んでいることなどの調査条件があったという側面のあるかもしれません。しかし、住み替えの不安点・躊躇材料となる家財道具の処理や費用の捻出、場合によっては住み慣れた土地を離れるというハードルを乗り越えないと、住み替えはできないので、シニア層になって住み替える人は前向きでアクティブな人が多いということでしょう。

MNS【今週の住活トピックス】より抜粋



インターネットができ



フラット35 中古リフォームでも

長期固定金利の住宅ローン「フラット35」を中古住宅の購入時に利用しやすくするため、リフォーム費用も一括で借せるよう拡充する案が浮上している。国土交通省が2015年度の予算概算要求に盛り込んだ。

フラット35は現状、リフォーム費用に融資ができない。中古住宅を購入後にリフォームする場合は、別で自己資金を用意するか別の金融機関から融資を受ける必要があった。

住宅金融支援機構では、フラット35リフォームパックという商品も用意しているが、あまり利用されていない。実現するには、同機構の業務内容を定めた関連法令を改正する手続きも必要になる。

第5回 マルナカまつり2014

10月26日(日) 10:00~15:00

<雨天決行> 荒天の場合は延期

日頃のご愛顧に感謝して今年も開催！
ご家族で楽しめるイベントです。ぜひ、ご来場ください♪

今年もやります!! 大人気の木工教室・縁日屋台♪

昨年大好評だったガスコンロの実演では美味しい秋の味覚が味わえる!?

ゲームコーナーには大人も楽しめる新ゲーム登場!

ショールームでは各回6組様限定の英国式菓子講座を開催!!

建材アウトレットコーナーには掘り出し物がたくさん♪

もちろん住まいの気になっていること、困っていることなどお気軽にご相談ください。

詳しくは同封のチラシをご覧ください。



(株)マルナカホーム

〒223-0057

横浜市港北区新羽町896

TEL 045-547-3434

FAX 045-545-9935

http://www.marunaka.tv/

ご用命の方はフリーダイヤルへ
フリーダイヤル

0120-28-45-28

どんなに小さなことでも遠慮なく御相談下さい 鈴木

今が大事!! 秋の害虫駆除対策

生活環境の進歩は、私たちに快適な暮らしを提供してきました。住環境においても、外気を通しにくい高い気密性、管理された室内の温度や湿度など、一昔に比べ暮らしやすさは格段に向上しています。住みやすい環境は私たちだけでなく生物もちろん害虫にとっても快適な環境です。家庭で嫌がられる2大害虫の駆除方法、発生予防対策をしましょう。

アース製薬・ライオンホームページより抜粋

害虫退治のポイントは3つ!

早めの対処

出てからでは遅い。
害虫に狙われる前に早めの対処が一番。

駆除

被害が拡大する前に害虫に
あった正しい駆除法をすぐに
実施。

日頃の対策

駆除後も安心せず、日頃から
生活環境に注意して再発防止
を。

ダニ

どんな家でも必ずダニは発生しています。そして、残念ながらゼロにすることは不可能です。ダニは、人間のフケやアカ、ホコリ、その他有機物を食べて増殖します。フケやアカ、汗1gでなんと約300匹のダニが生息できます。

日ごろの対策として、換気をすることで湿度を減らし、熱と乾燥に弱いダニを住みにくくし、掃除を入念にすることでダニのエサを減らし、繁殖しにくい環境を作りましょう。



梅雨から夏にかけて繁殖したダニの数に比例して、秋はアレルギーであるダニの死骸が多くなる場合があります。さらに、残暑や台風シーズンで高温多湿になりがちな9~10月頃は、ダニの繁殖もまだ活発に行われているため気が抜けません。つまり、生きているダニとそのフン、夏から蓄積されたダニの死骸、その両方がとても多い時期となるのです。

畳やじゅうたんだけでなく、ソファ、枕、ふとん、ぬいぐるみなどあらゆる場所に生息し、目に見えないダニを効果的に駆除するためには部屋全体の駆除と部分的な駆除を組み合わせ、生息場所に合わせた対策が必要です。駆除した後の掃除機がけが大切になります。いま話題の布団用掃除機も効果的かもしれません。

ゴキブリ

文字をみるのも嫌なほど嫌われ者のゴキブリ。家の周りに出没するゴキブリは、主に次の2種類です。どちらも雑食性で、サルモネラ菌や大腸菌などの病原菌を保有している可能性がありますので、十分ご注意ください。

クロゴキブリ

家庭で一番見かけるゴキブリで、屋外と室内を行き来しています。冬の間は、ベランダや庭の植木鉢、プランター、倉庫の陰、ダンボールの隅などで“卵または幼虫の状態”で冬を越します。

チャバネゴキブリ

クロゴキブリとは違って、屋内でしか生息

できません。熱帯性のため、冬は「暖かい・暗い・狭い」ところでじっとしている傾向がありますが、暖房が効いているところであれば生息可能です。

ご家庭によく出没するクロゴキブリは、冬の間は“卵や幼虫の状態”で生き延びています。ということは、秋に繁殖できなければ、彼らの冬越しは失敗に終わるはず。そう！秋に幼虫や成虫を徹底的に駆除しておけば、来春のゴキブリ発生率をかなり抑えることができます！！あまり知られていませんが、秋はとても重要な駆除タイミングです。

ゴキブリ対策のポイント

我が家にゴキブリはいないから対策はいらないと思いませんか？

ゴキブリは外から侵入してきますし、夜行性なので、もしかしたらあなたの目に触れていないだけかもしれません。また、ゴミや汚れはゴキブリのエサになってしまうので、ゴキブリ対策は重要です。

日頃から対策しておく事で、いや～なゴキブリに会わずにすみます。ゴキブリを寄せ付けない家にするための対策をご紹介します。

対策1.キッチン周りは、こまめに掃除

- 食品をむき出しのまま置かない
- 使用した食器や調理器具を放置しない
- 生ゴミは、袋の口をしぼってその日のうちに捨てる
- ガスコンロやその周りの掃除を怠らない
- 冷蔵庫や戸棚の裏はこまめに掃除する

対策2.ゴミを捨てる際のひと工夫

- ビールやジュースの空き缶、ペットボトルは必ず洗ってから捨てる
- なるべく、ふた付きのゴミ箱を使う
- ダンボールや雑誌類をため込まない

対策3.キッチン以外の水まわりやエアコンも清潔に

- エアコンのフィルターはこまめに掃除する
- トイレや洗面所も定期的に掃除する

対策4.ペットや観葉植物に注意

- ペットのエサを出しっぱなしにしない
- 室内の観葉植物は隠れ家になりやすいので気をつける

対策5.ゴキブリは、ジメジメした場所を好みます。家の除湿・換気に努めましょう

- お風呂場の換気扇を使う
- 部屋を加湿しすぎないようにする
- 換気の際は、玄関や窓を開けっぱなしにしない

ゴキブリ対策をするためのコツ

全ての対策を一度にこなそうとすると大変ですが、例えば毎日1~2個の対策をローテーションで行うなど工夫してみましょう。1回あたりの負担が少なくてすみます。

ゴキブリの必殺アイテム

即効性・確実性・使い勝手を考えると殺虫剤がベストですが、ゴキブリは神出鬼没。殺虫剤の用意がない場合や別の部屋にある場合は身近なアイテムで対処しましょう。

①スリッパ・・・殺虫剤がない場合、ゴキブリは叩きつぶすのが一番。その場合、ゴキブリの前方から触角に触れないように狙うのがベスト。おしりには風を感知する器官があるので、後ろから狙うと逃げられてしまいます。ゴキブリは衝撃を与えると前進するので、思わず「向かってきた！」と焦るかもしれませんが、これはゴキブリのバックができないという習性のため。またゴキブリは弱視なので人間を認識できません。冷静に次の一発を！

②液体石けんや洗剤・・・キッチンや浴室で見かけた場合、液体石けんや洗剤も有効。液体石けんや洗剤をゴキブリのお腹に向かってかけると、お腹の気道がふさがれて窒息して死に至ります。ただ、死ぬまで少し時間がかかってしまうので、スピーディーに処理したい時はお腹側に向かってさらに液体石けんや洗剤をかけましょう。

③掃除機・・・掃除機でゴキブリを吸った場合は一時的に気絶させることができます。すぐにゴキブリの入った紙パックやゴミを取り出し、ゴミ袋にいった後は密閉状態にして殺虫剤をスプレー。ゴミ袋を厳重にふさいで捨てましょう。

後始末

ゴキブリのメスは死ぬ間に産卵することがあります。あたり一帯を洗剤をつけた雑巾でしっかり拭き掃除をするか、ブラシで洗いましょう。掃除機で吸った場合は紙パックやゴミをすぐにゴミ袋に捨てましょう。

死体処理

ゴミ袋に捨て、念のために殺虫剤を吹きかけてください。お尻に卵がくっついている可能性もあるので、ゴミ袋の口は隙間が開かないように厳重にふさぎましょう。